

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 3 年 4 月 14 日

事業名称		会計事務費 [資金調達事務]											
予算科目	款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	5	会計管理費	事業番号	1		
事業の種別		<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) <input type="checkbox"/> 課内庶務等 <input type="checkbox"/> 休止したもの <input type="checkbox"/> 廃止したもの											
担当部署・課長名		会計			課			出納		係		課長名	當摩 弘
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。										施策番号	行 - 2		
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現										総合計画書 (ページ)	122		
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 現金の不足が見込まれる会計がある場合に、一般会計と各特別会計間及び基金と一般会計間において現金の調達を行う。更に現金の不足が見込まれる場合には、借入を行う。					→							
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 支払予定額に対して、常に一般会計及び各特別会計の残高があるようにする。					→							
	③ そのために何をしましたか。 各会計で資金不足が見込まれる場合は、繰替運用を行った。					→							
				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)		① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 一般会計及び特別会計で支払等を行った回数							
				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)		② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 各会計における日々の現金残高の確保							
				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)		③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 不足が見込まれ、現金の調整を会計間で行った回数							
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標					
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績		令和3年度目標	令和4年度目標				
	対象指標	①の数値	日	817	827	896							
	成果指標	②の数値	人	35.0	29.0	28.0							
	目 標	②の目標値	目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)										
3 経費	事業費(実績)		円	0	0	0		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)					
	財源	一般財源	円										
		特定財源	円										
	(うち受益者負担)		円										
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.1	0.1	0.1							
		所要人数(再任用)	人										
職員人件費(再任用以外)		円	824,400	831,000	838,000								
職員人件費(再任用)		円											
事業費+人件費		円	824,400	831,000	838,000								
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く												
	特になし。												
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く												
	特になし。												